

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 4 月 15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671000224
法人名	医療法人 微笑会
事業所名	グループホームほほえみ
所在地	鹿児島県指宿市東方314-1 (電話) 0993-22-1030
自己評価作成日	平成24年4月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成24年5月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営理念の基に、ご利用者様中心のケアの実践に取り組んでいる。日々ご利用者様の様子を観察しながら、コミュニケーションを密に取ることで、利用者様の声にならない思いを汲み取れるよう努めている。また、生活の場面において職員一人ひとりが感じた事や気付きを大切に考え、常時話し合いを持ちながら、ご利用者様のペースや思いに合わせた支援を行っている。認知症の知識・理解についても母体クリニックの認知症専門医による指導、勉強会を毎週受講することで、ケアの質の向上を図っている。運営母体であるクリニックとの連携や医療連携看護師による日常的な健康管理に加え、急変時、看取りに関しても連携による支援体制が整っているため、安心した生活を送ることができる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【立地・環境】

事業所は国道から少し入った住宅地にあり、日当たりの良い静かな環境の中にある。日頃より事業所周辺を散策したり、事業所の駐車スペースを利用して地域住民を交えてのバーベキュー大会を企画するなど、積極的に地域交流を図り顔なじみの関係を築いている。また、保育園児を招いてのクリスマス会や中学生の職場体験の受け入れなども積極的に行なっている。

【人権尊重とプライバシーの確保】

入職時の新人研修では、「ケアの方法」や「接遇マナー」、また利用者の思いに沿った「介護計画の立て方」など、全7過程のカリキュラムが生まれ、管理者の指導の下での徹底した取り組みがなされている。

【災害対策】

土砂災害警戒区域に指定されているため、土砂災害を想定した避難訓練や行政との連絡会など、地域住民も含めた話し合いが繰り返し行なわれている。また、災害時には近くにある他の事業所へ避難できるよう、避難経路等を含めた準備が進められている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開設時に管理者が独自の理念を作成し、ミーティングなどで理念の大切さを議題にあげている。ケアの現場で何らかの検討を要する場合などに、常に理念に立ち返りながら対応している	開設時に作られた理念は毎月のミーティングで職員全員で話し合うとともに日頃から利用者に対するケアや理念についての意見交換がなされている。また、職員は我が家でくつろいでいるような雰囲気を感じてもらいたいとの思いから毎日の言葉かけや態度についても繰り返し話し合われている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、六月灯の灯籠作りや祭りに参加している他利用者家族や近隣の方々とバーベキュー大会を開く等交流を図っている	自治会に加入し総会や清掃活動等の地域活動に積極的に参加している。日頃から散歩や外気浴の際に地域の方と挨拶を交わし時に差し入れを頂くなど地域に密着した関係が築かれている。クリスマス会や敬老会等には地域住民の方にも声をかけ参加して頂いている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員全員が認知症サポーターの講習を受講しているが、地域貢献への機会が少なく、見学者や訪問者、ご家族の方々へ認知症の方への支援の方法について話をしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の日々の状態の報告（事故報告や健康状態、生活の状況等）毎回行っており、それについての話し合いを行い、さらに緊急時対策の話し合いは、よく議題に上がっている	会議は行政職員や公民館長、民生委員会の他、利用者や家族代表も出席し事業所の取り組みや行事などについて話し合われるとともに、毎回ヒヤリハットの事例を協議し合うなど今後のケアや事故等の再発防止について地域ぐるみでの話し合いがなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	グループホーム連絡協議会や運営推進会議のほか、ホームの運営や疑問に感じる点など市町村担当者を尋ね、相談・助言を頂いている	行政職員とは運営推進会議で顔を合わせているため連携し合える関係にあり、介護保険申請や更新時等はもとより事業所運営についての疑問や悩みなど随時訪問して相談し助言を頂いている。また行政からも事業所の運営や内容等についての問い合わせがあるなど、日頃から協力し合える関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に対しては、毎月のミーティングで勉強会や報告を行っている。常に気をつけ、何が身体拘束になるかも話し合い確認しあっている	言葉による拘束を含む身体拘束の廃止については、重要事項説明書に明記されマニュアルも準備している。また、年に数回職員全員での研修を行なうとともに毎月のミーティングや気付いた時等にその都度話し合いがなされるなど拘束のないケアについて職員全員で取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会を行い、ミーティング時や毎日の介護の中で虐待が行われていないか、常に意識し確認しあっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	実際に成年後見制度を利用されている方もおられるため、身近に学ぶ機会がある。ご家族からの質問や相談に対しては、後見人の方へ相談する等して対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時を利用し、契約や重要事項説明を十分に行い、確認を頂いている。解約または改定等の際は文書にて説明を行い、疑問点については電話での説明を受け付け、理解と納得を図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様の意見、不満、苦情を真摯に受け止め、納得のいく解決方法を探している。また、ご家族にも来所の際に、声かけを行い、話し合える環境作りに取り組んでいる	利用者の思いは、日頃の様子から把握するとともに支援方法についても職員間で事例を出し合い、時に家族に確認しながら意見が反映されるよう随時話し合いがなされている。また、家族からは面会の時に管理者が必ず話をする機会を設けるなどし意見や要望を把握するよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者はミーティング時や何かにつけて意見を聞くようにしている	管理者と職員は日頃から意見を交換し合える関係にあり、介護計画や勤務体制等についての職員一人ひとりの意見を聞き取り業務改善を図るとともに利用者重視のサービスが提供できるよう日々取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	給与の昇給に関しては、給与水準をハローワークに問い合わせ下さったりして、きちんとした対応がなされている。労働時間に関しても、無理のない範囲にされている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修がある際には、職員に紹介し、その段階に応じた研修を行ってる。受講費用を事業所が負担するなど、研修を受けやすい環境ができている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会などを利用し、管理者、職員が交流できる場、勉強会の場を設けている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始時には、必ず本人の希望や不安な事などを時間をかけて伺いながら、一つ一つ本人が安心できる方法を提案しながらすすめている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時にご家族の思いを傾聴することはもちろん、面会の際には日頃の様子を伝え、些細なことも相談しながら、ご意見や要望を伺えるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時利用者様には何が必要かを入所前を含め、ご家族からよくお聞きしたり、関係者からの情報を頂きながら他のサービス（特に医など）取り入れている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	会話の中で本人の希望をそれとなく聞いたり、見守ったりしながら自然な生活を行い、出来ること、出来ない事をよく見極めながら共に生活するように心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所の際には、利用者様を家族、職員と共に支えていきたいとの希望をお話させて頂いている。また、面会の際には時間の許す限り一緒に過ごせる時間を設けている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達との連絡（電話）のお手伝いをしたり、本人の馴染みの場所などもそれとなく聴いておき、可能な限り行けるように支援している	入居前の人間関係については、センター方式の『基本情報』に詳細に記載しており、電話や手紙の取次その他、訪問など家族とともに外出を支援している。また、遠方の家族には毎月手紙や写真、『ほほえみ便り』を郵送するなどして家族に近況を知らせている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人個性があり、生活環境の違いなどにより、孤立される方がおられますが、職員は常に関わりを持ち、利用者の方が仲良く、楽しく生活できるように工夫している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院などによる退所の場合、職員が交代で面会へ伺い、洗濯物の手伝いをさせて頂いたり、入院先での不安や相談の支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所時にご家族から聞いたり、会話の中でお聞きし、本人には困難な場合は毎日の会話の中で検討している	センター方式の『基本情報』や日々の生活の中から本人の思いや希望を把握するよう努めている。また、職員が気付いたことを書き込める『連絡帳』を活用して本人の思いを組み取り、職員間で共有しながら最善の支援方法を検討し実践につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式のアセスメントを活用して、ご家族の方にも協力を頂きながら、把握に努めている。在宅のケアマネージャーとの連携も取り、情報を頂いている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方のそれまでの暮らしを大切にし意思表示の困難な方は表情や様子に注意を払いながら、その場の状況を観察記録して、職員間で柔軟な支援が行われるよう努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者の作ったケアプランを基にし、介護においては職員の意見をよく聴いて、プランに沿った介護の方法を検討している。又、ご家族にも意見を頂いている	利用者や家族の思いや意向を把握するとともに、朝礼や終礼、毎月のミーティング時に話し合いモニタリングを基に介護計画を作成している。また、本人や家族の変化等に応じて随時関係者間で意見交換し状態に則した介護計画となるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	引き継ぎノートや個人記録帳に記録して、必要があればアセスメントや24時間シートを利用し、職員間で共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入所者の方の状態、状況はそれぞれであるため、常にご家族・職員を含めた話し合いと研修心を持ち、ニーズに対応していきたいと思っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	いろいろな方から地域資源の情報を頂き、活用の方法を考えている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族の意向や受診状況などを入所時に確認し、希望するかかりつけ医の受診・往診の依頼を行っている。法人の医療連携や医師の診療も受けられるよう支援している	入居前のかかりつけ医については、基本情報において把握され、受診は主に家族が同行している。母体医療機関による月2回の往診と毎週看護師による訪問もあり医療との連携は十分取れている。また受診の記録は支援経過に詳細に記録されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人の医療連携看護師と連絡を取り合い、常に利用者様の健康状態の把握に努め、日々の様子や気づきを伝え、相談している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	母体クリニックとの連携もあり、病院間の連携もよく取れている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	常日頃から看取りの勉強会をしている。実際に看取りを経験し、チームワークの大切さも経験した。今後もより一層のご家族との連携、医療機関や他の各協力機関との連携なども深めながら取り組んでいきたいと思っている	重度化や看取りについては、マニュアルを準備するとともに『さつま半島地区グループホーム連絡協議会』主催の研修会に参加したり母体医療機関からの資料を基に勉強会を行なうなど積極的に取り組んでいる。看取り介護の意思の確認は『看取り介護の指針』で同意を得るとともに、その後も繰り返し意思を確認するようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	これまで、緊急時を何度か経験し、母体の医療機関との協力、指導を受け、指示に従えるようにしている。また、消防署の救命・救急訓練を計画、体験している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時のマニュアルを作成し、訓練を実施している。地域には協力して頂けるようお願いしている</p>	<p>年2回の災害訓練では、地域住民にも参加を呼びかけるとともに『土砂災害警戒区域指定』を受けているため行政を交えた話し合いが繰り返し行なわれている。備蓄については、食料や飲料水など十分な量が確保されている。</p>	<p>土砂災害に対するマニュアルの作成や夜間想定訓練、土砂災害訓練を実施しているが、訓練の記録がまとめられておらず確認できなかったため、今後は訓練の反省点や改善点等を記録として整備することを期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様のプライバシーに配慮した対応は、職員間でもお互いに気をつけるよう申し合わせ、実践している。個人情報についても常に気を配っている	入職時に人権の尊重や接遇に関する研修を徹底して行ない、その後もプライバシーに配慮した介護の方法など話し合う機会を設けている。利用者個人にとって一番良い支援の在り方について職員全員で取り組み実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中で、常に思いや希望を聞き出せるような問いかけを行うよう心掛け、本人と一緒に考えながら決定するようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴時間や食事の時間などはだいたいホームのペースで行っていきますが、その人のその日の状態や気分にとり、自分で決めた日課をこなしたりしながら、自由に時間を使っています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族の方に協力を頂いたり、理容師さん、美容師さんに訪問して頂いている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方には食事の準備や野菜の皮むなど出来ることはお手伝い頂いている。好みなども献立に合わせて取り入れたりしている	献立は母体医療機関の栄養士が立てているが、メニューの変更は可能であり、利用者の好きなものや食べたいものがあれば臨機応変に対応している。また、調理の下ごしらえや食器の準備など一連の工程を可能な利用者とともにこなしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立により食事を提供。形態については一人ひとりの状態や希望を考慮して工夫している。水分量についても一日の摂取量を把握し、飲水量の少ない方には付き添い、励まししながら、また、好みの飲み物を提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、実施している。必要に応じては、かかりつけ歯科医の訪問を依頼、相談しながら支援の方法を学んでいる		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの状態にあった方法を検討し、安全にポータブルトイレやトイレの使用が行えるように支援している。排泄意を訴えない方は、排泄のパターンを職員が把握し、声かけや誘導を行っている	『排泄表』にて排泄パターンを把握するとともにトイレ誘導の必要な方には自尊心を傷つけないよう、さり気なくトイレに誘っている。また、おむつの使用やおむつ外しについては、話し合いの下で介護計画に組み込み、連携して取り組むようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給の徹底とその方の排泄の状況を記録し、医療連携看護師へ報告していつ。日常的には、適度な運動、食材の工夫、入浴、ホットパック等を使用して、予防に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	だいたいの入浴日は定めているが、必要に応じてはいつでも入浴して頂いている	入浴日を定めてはいるが利用者の希望があればいつでも入浴できるよう支援している。脱衣所には冬は電気ストーブ、夏は扇風機を用意し、換気や浴室との温度差が少なくなるよう配慮している。入浴後は水分摂取を促している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の体調に気を配りながら、ゆっくりと休める環境づくりに努めている。一人ひとりのこれまでの習慣を崩すことなく、気持ち良く眠れるよう室温調整、寝具調整を行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬について疑問があれば、医師・医療連携看護師へ相談している。日々の薬の管理は職員もよく理解し、疑問があれば、職員間で話し合っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの意見や趣味を活かしながら、活動して頂いている。可能な限り本人の希望を聞き、楽しく生活出来るよう支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	対応はまちまちですが、本人の希望を把握しながら、自宅への外出を支援したり、買い物など行きたい所へも連れて行きます。職員の付き添いが難しい時には、ご家族と連携を取りながら出かけられるよう支援している	日常的に散歩やドライブ、買い物などに出かけており、また、地域で開催された『ふれあいフェスタ』や母体医療機関で毎年開催している『でんちゃん祭り』への参加など外出の機会が多い。車いす等により外出が困難な方には車いす対応車にて外出を支援したり、家族と協力しながら積極的に外出の機会を設けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理できる方は自分で持って頂いている。管理の難しい方はご家族に連絡したり、少々は事務所で預かり、必要分を手渡している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	いつでも電話が掛けられるようにホールに電話を設置し、電話を掛けるお手伝いをしている。聴力障害のある方には、日常の様子を伝える手紙を書くことをすすめ、家族との繋がりを大切に支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間での音や光、温度等は、常に利用者様に伺いながら調節している。季節感を感じながら生活する工夫をして、季節の花や共同作業で取り組んだ壁飾りを楽しみながら過ごしている	事業所の中央に位置するリビングは、各居室から利用者が自然に集まる共用の空間となっている。また、温度や換気といった空調や天窓からの明かりなど居心地良く過ごせるよう配慮されている。リビングに掲示してある作品は季節に応じて毎月変えるなど四季を感じてもらえるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の広さが限られているが、利用者様が利用しやすく、落ち着ける位置を考えてソファや椅子を設置している。屋外にも椅子を設置し、気候の良い日は1Fの利用者様と日光浴を楽しまれている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時、本人やご家族へ相談し、使い慣れた家具や品物を可能な限り持参して頂いている。入居後も本人と相談しながら、好むであろうもの等を揃えている</p>	<p>居室にはベッドとエアコン、洗面台が備え付けられている。自宅からは馴染みのタンスやテレビ、机等持参され自宅に近い環境になるよう工夫している。また、タンス上や壁には家族の写真や思い出の品、趣味の書道の作品など個性ある居室づくりがなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>それぞれの身体機能の把握に努め、できることを安全に行えるよう手すりの位置や家具、ポータブルトイレの配置など、常に検討・工夫している</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした理念を掲げ、朝礼時に確認し合い、ミーティングにおいても理念を共有することの大切さを話し合い、その実践に向け取り組んでいる		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、六月灯の灯籠作りや祭りに参加している他利用者家族や近隣の方々のバーベキュー大会を開く等交流を図っている		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員全員が認知症サポーターの講習を受講しているが、地域貢献への機会が少なく、見学者や訪問者、ご家族の方々へ認知症の方への支援の方法について話をしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の日々の状態の報告（事故報告や健康状態、生活の状況等）毎回行っており、それについての話し合いを行い、さらに緊急時対策の話し合いは、よく議題に上がっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	グループホーム連絡協議会や運営推進会議のほか、ホームの運営や疑問に感じる点など市町村担当者を尋ね、相談・助言を頂いている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に対しては、毎月のミーティングで勉強会や報告を行っている。常に気をつけ、何が身体拘束になるかも話し合い確認しあっている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会を行い、ミーティング時や毎日の介護の中で虐待が行われていないか、常に意識し確認しあっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	実際に成年後見制度を利用されている方もおられるため、身近に学ぶ機会がある。ご家族からの質問や相談に対しては、後見人の方へ相談する等して対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時を利用し、契約や重要事項説明を十分に行い、確認を頂いている。解約または改定等の際は文書にて説明を行い、疑問点については電話での説明を受け付け、理解と納得を図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様の意見、不満、苦情を真摯に受け止め、納得のいく解決方法を探している。また、ご家族にも来所の際に、声かけを行い、話し合える環境作りに取り組んでいる		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	話しやすい環境を作り、ミーティング時には様々な意見を出し合い、意見や提案を聴く場を設け、管理者や代表者において検討されている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	給与の昇給に関しては、給与水準をハローワークに問い合わせ下さったりして、きちんとした対応がなされている。労働時間に関しても、無理のない範囲にされている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修がある際には、職員に紹介し、その段階に応じた研修を行ってる。受講費用を事業所が負担するなど、研修を受けやすい環境ができている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会などを利用し、管理者、職員が交流できる場、勉強会の場を設けている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始時には、必ず本人の希望や不安な事などを時間をかけて伺いながら、一つ一つ本人が安心できる方法を提案しながらすすめている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時にご家族の思いを傾聴することはもちろん、面会の際には日頃の様子を伝え、些細なことも相談しながら、ご意見や要望を伺えるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前に本人とご家族から、その時の状態や状況をよくお聞きしたり、日々の様子をよく観察することで、何が必要かを見極め支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念の基、本人の残っている能力を生かせるよう生活を共にし、お互いにねぎらい、感謝しながら、助け支えあう関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所の際には、利用者様を家族、職員と共に支えていきたいとの希望をお話させて頂いている。また、面会の際には時間の許す限り一緒に過ごせる時間を設けている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人との連絡がいつでも取れるようお手伝いをしたり、自宅への送迎と付き添いや、通い慣れた温泉への送迎、介助など可能な限り支援している		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様個人の性格や関係を把握し、楽しく会話が行えるよう時には隣席より手助けや声かけができるよう、ホールでの席を工夫したり、レクリエーションや作品作りを通して、利用者同士の関係作りを行っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院などによる退所の場合、職員が交代で面会へ伺い、洗濯物の手伝いをさせて頂いたり、入院先での不安や相談の支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で、本人の思いや希望を引き出せるような話しかけをしている。困難な場合は表情、行動をよく観察し合い職員間で検討、家族とも連携をもちながら本人にとって何が大切であるかを考えている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式のアセスメントを活用して、ご家族の方にも協力を頂きながら、把握に努めている。在宅のケアマネージャーとの連携も取り、情報を頂いている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方のそれまでの暮らしを大切にし意思表示の困難な方は表情や様子に注意を払いながら、その場の状況を観察記録して、職員間で柔軟な支援が行われるよう努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画を作成するにあたって本人、家族の思いを尊重したケアの提供を心がけている。モニタリングにおいては、担当者から出されるアイデアを大切に考え、計画に反映されるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	引き継ぎノートや個人記録帳に記録して、必要があればアセスメントや24時間シートを利用し、職員間で共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりのこだわりから生まれるニーズや新たな要望を大切に受け止め、職員間で意見を出し合いご家族とも連携を持ちながら前向きに検討、対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	いろいろな方から地域資源の情報を頂き、活用の方法を考えている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族の意向や受診状況などを入所時に確認し、希望するかかりつけ医の受診・往診の依頼を行っている。法人の医療連携や医師の診療も受けられるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人の医療連携看護師と連絡を取り合い、常に利用者様の健康状態の把握に努め、日々の様子や気づきを伝え、相談している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	母体クリニックとの連携もあり、病院間の連携もよく取れている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に本人、ご家族などと話し合いを行い、看取り介護についての希望、要望を伺っている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	これまで、緊急時を何度か経験し、母体の医療機関との協力、指導を受け、指示に従えるようにしている。また、消防署の救命・救急訓練を計画、体験している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時のマニュアルを作成し、訓練を実施している。地域には協力して頂けるようお願いしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様のプライバシーに配慮した対応は、職員間でもお互いに気をつけるよう申し合わせ、実践している。個人情報についても常に気を配っている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中で、常に思いや希望を聞き出せるような問いかけを行うよう心掛け、本人と一緒に考えながら決定するようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の生活のリズムやペースを大切に、その日の状態や気分に沿いながら、支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族の方に協力を頂いたり、理容師さん、美容師さんに訪問して頂いている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様が出来ることを、それぞれ役割をもって、食事の準備や野菜の下ごしらえ、片付けなどを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立により食事を提供。形態については一人ひとりの状態や希望を考慮して工夫している。水分量についても一日の摂取量を把握し、飲水量の少ない方には付き添い、励まししながら、また、好みの飲み物を提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、実施している。必要に応じては、かかりつけ歯科医の訪問を依頼、相談しながら支援の方法を学んでいる		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの状態にあった方法を検討し、安全にポータブルトイレやトイレの使用が行えるように支援している。排泄意を訴えない方は、排泄のパターンを職員が把握し、声かけや誘導を行っている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給の徹底とその方の排泄の状況を記録し、医療連携看護師へ報告していつ。日常的には、適度な運動、食材の工夫、入浴、ホットパック等を使用して、予防に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	だいたいの入浴日は定めているが、必要に応じてはいつでも入浴して頂いている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の体調に気を配りながら、ゆっくりと休める環境づくりに努めている。一人ひとりのこれまでの習慣を崩すことなく、気持ち良く眠れるよう室温調整、寝具調整を行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬について疑問があれば、医師・医療連携看護師へ相談している。日々の薬の管理は職員もよく理解し、疑問があれば、職員間で話し合っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの意見や趣味を活かしながら、活動して頂いている。可能な限り本人の希望を聞き、楽しく生活出来るよう支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	対応はまちまちですが、本人の希望を把握しながら、自宅への外出を支援したり、買い物など行きたい所へも連れて行きます。職員の付き添いが難しい時には、ご家族と連携を取りながら出かけられるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理できる方は自分で持って頂いている。管理の難しい方はご家族に連絡したり、少々は事務所で預かり、必要分を手渡している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	いつでも電話が掛けられるようにホールに電話を設置し、電話を掛けるお手伝いをしている。聴力障害のある方には、日常の様子を伝える手紙を書くことをすすめ、家族との繋がりを大切に支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間での音や光、温度等は、常に利用者様に伺いながら調節している。季節感を感じながら生活する工夫をして、季節の花や共同作業で取り組んだ壁飾りを楽しみながら過ごしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の広さが限られているが、利用者様が利用しやすく、落ち着ける位置を考えてソファや椅子を設置している。屋外にも椅子を設置し、気候の良い日は1Fの利用者様と日光浴を楽しまれている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時、本人やご家族へ相談し、使い慣れた家具や品物を可能な限り持参して頂いている。入居後も本人と相談しながら、好むであろうもの等を揃えている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	それぞれの身体機能の把握に努め、できることを安全に行えるよう手すりの位置や家具、ポータブルトイレの配置など、常に検討・工夫している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない